

生徒の部活動に関する実態調査アンケート結果について

1 生徒向けアンケート結果

1	回答数	1036名							
2	現在の参加状況	参加している	91.5% (948名)		参加していない	8.5% (88名)			
3	参加している部活動の種類	運動部活動	61.8% (586名)		文化部活動	38.2% (362名)			
4	部活動は有意義だと思いますか	思う	63.6% (603名)	やや思う	25.9% (246名)	あまり思わない	7.4% (70名)	思わない	3.1% (29名)

○回答した生徒の約91%が部活動に参加している。

○所属の割合は、運動部活動が約62%、文化部活動が約38%である。

○約90%の生徒が現在の部活動を有意義と感じている。

5	顧問の先生から専門的な技術指導が受けられていると思いますか。	思う	55% (521名)	やや思う	24.3% (230名)	あまり思わない	10.5% (100名)	思わない	10.2% (97名)
---	--------------------------------	----	------------	------	--------------	---------	--------------	------	-------------

○約79%の生徒が、学校の教員から専門的な指導を受けられていると感じている。

●約21%の生徒は、学校の教員から専門的な指導を受けられていないと感じている。

6	現在、参加している部活動について、困っていることはありませんか。	特になし	68.2% (647名)	部員が多く、試合や発表会に出られない生徒がいる	6% (57名)
		技能が向上していない	12.9% (122名)	目標や課題の解決策等について、自分たちで考える時間がない・少ない	5.4% (51名)
		休みがない・少ない	12.0% (120名)	部員が多く、練習の機会が少ない	3.2% (30名)
		学習や趣味に使える時間がない	10.1% (96名)	部員が少なく、試合や発表会に出場できない	1.9% (18名)
		部員が少なく、効果的な練習が十分にできない	6.9% (65名)		

○約68%の生徒が「困っていること」は「特になし」と回答している。

●困っていることの上位は、「技術が向上していないこと」約13%、「休みがない・少ない」12%、「学習や趣味に使える時間がない」約10%となっている。休みや自分の時間に関する項目が約22%と高めとなっている。

●部員が少ないことによる困り感がある生徒が約9%いる。

●一方、部員が多いことによる困り感がある生徒も約9%いる。

7	部活動に参加していない理由は (回答：88名)	他に頑張りたいことがあるため	36.4% (32名)	自分が希望する種目や分野の部活動がないため	29.5% (26名)
		学校の部活動より地域の活動のほうが、 自分のやりたいことに合っていたため	35.2% (31名)	その他 (人間関係3名、合わなかった4名等)	28.4% (25名)

○部活動に参加していない生徒のうち、校外や地域の活動で頑張りたいことややりたいことに取り組んでいる生徒が約72%

●希望する部活動がないために参加していない生徒が約30%

8	今後、自分の学校に、希望する種目 や分野の部活動がない場合、どのよ うな活動に参加したいですか。	自分の学校にある部活動の中か ら選んで参加したい	59.2% (613名)	他の学校に希望する部活動があり、それ に参加できるのであれば参加したい	7.6% (79名)
		希望する部活動がなければ、他 の部活動には参加しない	20.2% (209名)	地域に自分が希望する活動があれば、地 域でのスポーツ・文化活動に参加したい	13% (135名)

○希望する種目がない場合、自校の他の部活動に参加したい生徒が約59%

○合同部活動への参加希望が約8%、地域部活動への参加希望が約13%と、希望する種目を行うために、自校以外の活動への参加を希望する生徒は、全体の約21%

●自校に希望する部活動がなければ、参加しない生徒が約20%

9	今後、資格のある指導者から専門的 な指導を受けたいと思いますか。	思う	40.8% (423名)	やや思う	33.4% (346名)	あまり思わない	15.6% (162名)	思わない	10.1% (105名)
---	-------------------------------------	----	-----------------	------	-----------------	---------	-----------------	------	-----------------

○資格のある指導者から専門的な指導を受けたいと思っている生徒が、約74%

●資格のある指導者から専門的な指導を受けたいと思っていない生徒が、約26%

10	地域でのスポーツ・文化活動に ついて、どのような活動に参加 したいと思いますか。	年間を通じて、同じ種目や分野を深 めていく活動	39.7% (411名)	競技・大会でより高い記録・成績 を残すことを目指す活動	24.8% (257名)
		季節ごとに異なる活動を行うなど、 複数の種目や分野に取り組む活動	19.8% (205名)	競技・大会志向ではなく、レクリ エーション志向で行う活動	15.7% (163名)

○年間を通じて同じ種目に取り組む活動に参加したい生徒が約40%

○大会等で結果を出すことを求めている生徒が約25%

○様々な種目に取り組みたい生徒が約20%、レクリエーション志向を希望する生徒が約16%

11	来年度、地域でのスポーツ・文化活動にどのような種目や分野があったら参加したいと思いますか。	バスケットボール (47名)	バレーボール (30名)	バドミントン (30名)	テニス (25名)	水泳 (20名)	陸上 (20名)	ダンス (19名)	卓球 (19名)
		美術(11名)	ボランティア (6名)	プログラミング (6名)					
12	今までの部活動ではなく、地域でのスポーツ・文化活動に参加する形になった場合、どのような心配がありますか。	指導者が学校の先生ではないこと			34.7%(359名)	様々な学校から生徒が参加するため、参加メンバーとの関係づくり			55%(570名)
		活動場所が自分の学校ではない場合、移動の負担が生じること			45.3%(469名)	大会への参加、成果発表の場の確保			19.8%(205名)

教員の部活動に関する実態調査アンケート結果について

1 教員向けアンケート結果

1	回答数	93名			
2	現在、担当している部活動を選択してください。	運動部活動	69.9%(65名)	文化部活動	30.1%(28名)
3	現在、担当している部活動は、ご自身の専門の種目や分野ですか	専門である	40.9%(38名)	専門ではない	59.1%(55名)
4	担当している部活動に部活動指導員や外部指導員が配置されていますか	部活動指導員と外部指導員	8.6%(8名)	外部指導員	28%(26名)
		部活動指導員	5.4%(5名)	配置されていない	58.1%(54名)
5	ご自身が休日部活動に関わっている日数は月当たり何日程度ですか	0日	19.4%(18名)	2~3日	19.4%(18名)
		1日	9.7%(9名)	4日以上	51.6%(48名)

○専門の種目を指導している教員が約41%、専門ではない種目を指導している教員が約59%

○顧問以外の指導員が配置されていない部活動が約58%

○休日に部活動に従事している教員が、約81%

6	自分の専門の部活動について、指導や運営に携わりたいですか	平日・休日共に携わりたい	21.5%(20名)	休日のみ携わりたい	3.2%(3名)
		平日のみ携わりたい	32.3%(30名)	平日・休日とも携わりたくない	43%(40名)

○専門の種目であれば平日・休日とも携わりたいと思っている教員が約22%

○専門の種目であれば平日のみ携わりたいと思っている教員が約32%

→専門の種目の場合、指導や運営に携わりたいと思っている教員は半数以上いる

●専門の種目でも、平日・休日とも携わりたくないと思っている教員が約43%

7	自分の専門ではない部活動について、指導や運営に携わりたいですか	平日・休日共に携わりたい	4.3%(4名)	休日のみ携わりたい	2.2%(2名)
		平日のみ携わりたい	12.9%(12名)	平日・休日とも携わりたくない	80.6%(75名)

○専門外の種目でも平日・休日とも携わりたいと思っている教員が約4%

○専門外の種目でも平日のみ携わりたいと思っている教員が約13%

●専門外の種目であれば平日・休日とも携わりたくないと思っている教員が約81%

→専門外の種目の場合、多くの教員が指導や運営に携わりたくない

8	今後、専門的な指導を行ってくれる外部の方が運営に携わってほしいと思いますか。	思う	62.4%(58名)	あまり思わない	7.5%(7名)
		やや思う	28%(26名)	思わない	2.2%(2名)

○専門的な指導を行ってくれる外部の指導員に携わってほしいと思っている教員が約90%

10	現在、部活動の指導や運営に負担を感じていますか	感じている	46.2%(43名)	やや感じている	33.3%(31名)	あまり感じていない	15.1%(14名)	感じていない	5.4%(5名)
9	現在、指導している部活動について、困っていることは何ですか。	校務が忙しく思うように、部活動の指導ができない			65.6%(61名)	審判や大会運営への参加			37.6%(35名)
		家族との時間や自分の趣味に費やす時間がない			58.1%(54名)	専門的な技術指導ができない			32.3%(30名)
		教材研究、授業準備の時間がとれない			54.8%(51名)	技能を向上させられない			22.6%(21名)
		休みがない・少ない			43.0%(40名)	該当なし			7.5%(7名)
		部活動の技術指導以外の業務が多い			37.6%(35名)	その他			8.6%(8名)
11	現在、部活動の指導や運営によって、どのような業務に支障が生じていますか	教材研究			64.5%(60名)	保護者との連絡、面談等			32.3%(30名)
		教員との連絡、打ち合わせ			44.1%(41名)	該当なし			18.3%(17名)
		生徒指導(面談や補習等)			41.9%(39名)				

●部活動の指導や運営に負担を感じている教員が約80%

●部活動の指導によって困り感がある教員が約94%

●業務に支障が生じていると感じている教員が約82%

12	今後、生徒数が減り、学校内の部活動の設置数や部員数が減少していくことが考えられます。そのような場合、部活動はどのような実施形態が望ましいと考えますか	設置する部活動を精選して自校のみで実施する	14%(13名)	学校ではなく、地域クラブや民間団体などにおける地域でのスポーツ・文化活動に移行する	79.6%(74名)
		複数の学校による合同部活動として実施する	6.5%(6名)		

○地域移行を望む教員が約80%

→生徒アンケートの自校で部活に参加したい生徒約59%、地域部活動へ参加したい生徒約13%との差が大きい結果となった

13	部活動が地域に移行した際に、自分の専門の活動である場合、地域でのスポーツ・文化活動の指導や運営に携わりたいですか	有償で、平日・休日とも携わりたい	18.3%(17名)	無償で平日のみ携わりたい	3.2%(3名)
		有償で平日のみ携わりたい	24.7%(23名)	有償・無償にかかわらず、平日・休日とも携わりたい	50.5%(47名)
		有償で休日のみ携わりたい	3.2%(3名)		

○有償であれば携わりたいと思っている教員が約47%

●有償・無償にかかわらず、平日・休日とも携わりたい教員が約51%

14	部活動や地域でのスポーツ・文化活動について、生徒をどのような活動に参加させたいと思いますか	年間を通じて、同じ種目や分野を深めていく活動	54.8%(51名)	競技・大会でより高い記録・成績を残すことを目指す活動	16.1%(15名)
		季節ごとに異なる活動を行うなど、複数の種目や分野に取り組む活動	16.1%(15名)	競技・大会志向ではなく、レクリエーション志向で行う活動	12.9%(12名)

○年間を通じて同じ種目に取り組んでほしいと思っている教員が約55%。大会等で結果を出すことを目指す活動に参加させたい教員が約16%

→生徒アンケートと同様の傾向が出ている。

15	生徒が、地域でのスポーツ・文化活動に参加する形になった場合、どのような心配がありますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校の連携、情報共有 ・地域活動でのトラブル対応(生活指導、保護者への対応) ・怪我や事故への対応 ・予算の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の質、量 ・大会運営、引率の有無 ・学校や教員の介入が必要か ・場所や時間の制限 等
----	--	---	---

保護者の部活動に関する実態調査アンケート結果について

1 保護者向けアンケート結果

1	回答数	416名							
2	お子様が現在、部活動に参加していますか。	参加している	89.4% (372名)	参加していない	10.6% (44名)				
3	現在、お子様が参加している部活動を選択してください。	運動部活動	67.2% (250名)	文化部活動	32.8% (122名)				
4	現在、お子様が参加している部活動では、専門的な技術指導が受けられていると思いますか。	思う	31.7% (118名)	やや思う	33.9% (126名)	あまり思わない	22.8% (85名)	思わない	11.6% (43名)

○参加率や参加している部活動の種類も概ね生徒アンケートと同様の傾向である。

●専門的な指導が受けられていると感じている割合は約65%で、生徒の約79%と比較すると低くなっている。

5	現在、お子様が参加している部活動について、困っていることはありますか。(複数選択可)	特になし	58.6% (218名)	部員が多く、試合や発表会に出られない生徒がいる	6.5% (24名)
		技能が向上していない	22.8% (85名)	学習や趣味に使える時間がない	5.1% (19名)
		部員が少なく、効果的な練習が十分にできない	12.4% (46名)	部員が少なく、試合や発表会に出場できない	5.1% (19名)
		目標や課題の解決策等について、自分たちで考える時間がない・少ない	9.4% (35名)	部員が多く、練習の機会が少ない	2.7% (10名)
		休みがない・少ない	6.7% (25名)		

○生徒と同様に困っていることは「特になし」が約59%と最多になっている。

●2番目に多い項目も生徒と同じく「技能が向上していない」となっている。また、生徒より約10%高く約23%となっている。

教員のアンケートの「技能を向上させられない」約23%と同等の結果である。

●部員が少ないことによる困り感がある保護者は約18%で、生徒の約9%と比較して高い

6	今後、国は中学校の部活動を地域に移行することを示していますが、ご存じですか	知っている	61.3% (255名)	知らない	38.7% (161名)
---	---------------------------------------	-------	--------------	------	--------------

●部活動の地域移行について知らない保護者が、約39%

7	お子様の学校に、希望する種目や分野の部活動がない場合、どのような活動に参加させたいですか。	自分の学校にある部活動の中から選んで参加させたい	31.5% (131名)	他の学校に希望する部活動があり、それに参加できるのであれば参加させたい	16.8% (70名)
		希望する部活動がなければ、他の部活動には参加させない	4.3% (18名)	地域にお子さんが希望する活動があれば、地域でのスポーツ・文化活動に参加させたい	47.4% (197名)

●地域での活動に参加させたいという保護者が一番多く、約47% (生徒は約13%)

●自校の他の部活動に参加させたいが約32% (生徒は約59%)

●自校に希望する部活動がなければ、参加させないが約4% (生徒は約20%)

8	部活動や地域でのスポーツ・文化活動について、お子様をどのような活動に参加させたいと思いますか。	年間を通じて、同じ種目や分野を深めていく活動	53.8% (224名)	競技・大会でより高い記録・成績を残すことを目指す活動	16.3% (68名)
		季節ごとに異なる活動を行うなど、複数の種目や分野に取り組む活動	17.8% (74名)	競技・大会志向ではなく、レクリエーション志向で行う活動	12% (50名)

○年間を通じて同じ種目に取り組む活動に参加させたい保護者が一番多く、約54% (生徒は約40%)

○大会等で結果を出すことを求めている保護者が約16% (生徒は約25%)

9	今後、お子様に資格のある指導者から専門的な指導を受けさせたいと思いますか。	思う	65.1% (271名)	やや思う	37.5% (156名)	あまり思わない	7.7% (32名)	思わない	1.4% (6名)
---	---------------------------------------	----	--------------	------	--------------	---------	------------	------	-----------

○資格のある指導者から専門的な指導を受けさせたいと思っている保護者が約93% (生徒は約74%)

10	部活動が地域の活動に移行し、その活動に参加する際に新たに活動費の負担が生じることが考えられます。お子様の地域でのスポーツ・文化活動への参加と保護者が負担する活動費との関係についてどのようにお考えですか。	月3000円～5000円であれば参加させる。	65.1% (271名)	月10001円以上でも参加させる	6.3% (26名)
		月5001円～10000円であれば参加させる	13% (54名)	保護者負担が生じるのであれば参加させない	15.6% (65名)

○5000円以内であれば負担してもよいと考えている保護者が約65%

○保護者負担がある場合「参加させない」と考えている保護者が約16%

11	来年度、地域でのスポーツ・文化活動にどのような種目や分野があったら参加させたいと思いますか。	ダンス (24名)	水泳 (19名)	テニス (14名)	バスケットボール (12名)	陸上 (11名)	バレーボール (11名)	サッカー (10名)	バドミントン (10名)
		プログラミング (10名)	吹奏楽 (楽器) (8名)	美術・絵 (8名)	家庭科・料理 (6名)				

※生徒の意見 運動部：バスケ (47名)、バレー (30名)、バドミントン (30名)、テニス (25名)、水泳・陸上 (20名)、ダンス (19名)
文化部：美術 (11名)、ボランティア (6名)、プログラミング (6名)

12	今までの部活動ではなく、地域でのスポーツ・文化活動に参加する形になった場合、どのような心配がありますか。	指導者が学校の先生ではないこと	25.7% (107名)	様々な学校から生徒が参加するため、参加メンバーとの関係づくり	33.7% (140名)
		活動場所が自分の学校ではない場合、移動の負担が生じること	82.5% (343名)	大会への参加、成果発表の場の確保	17.3% (72名)
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者について ・学校の教員と生徒の関係の変化 ・友達関係、絆の深まり ・大会への参加、引率 ・学校部活動に参加しないことが不利益にならないか (推薦等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所 ・費用 ・連絡方法 ・怪我や事故への対応、責任 	